

# 公益財団法人盛岡観光コンベンション協会

## 事業運営計画

(令和2年度～令和6年度)

令和2年6月

## 1 計画策定の趣旨

公益財団法人盛岡観光コンベンション協会は、平成25年4月1日に公益財団法人として新たなスタートを切り、本年度で移行7年目を迎えている。設立目的の達成に向けて計画実行をより充実させていくために、平成27年5月に前事業運営計画を策定し、毎年事業評価を行いながら、目標達成に努めてきた。

今般、前事業運営計画の終了に当たり、目標達成状況や課題などを検証し、令和2年度から令和6年度を計画期間とした新たな事業運営計画を策定しようとするものである。

## 2 前事業運営計画の総括評価

### (1) 目標の達成状況

#### 運営基盤の強化(賛助会員数)

年 度	目標達成 状況	H26年度 (実績)	H30年度 (実績)	H31年度 (実績)	H29～ 31年度 (平均)	H31年度 (目標値)
指 標						
賛助会員数	C	360	342	337	345	400

#### 事業運営計画主要事業

年 度	目標達成 状況	H26年度 (実績)	H30年度 (実績)	H31年度 (実績)	H29～ 31年度 (平均)	H31年度 (目標値)
指 標						
ア 新聞掲載回数(回)	A	5	3	5	4	5
イ 協会ホームページ訪問回数(回)	B	138,589	192,028	158,774	192,996	800,000
ウ ふるさとガイドによる案内件数 (人)	B	2,537	2,581	2,107	2,415	3,000
エ 国内外観光客及び教育旅行誘致 活動回数(回)	S	11	14	7	15	10
オ 支援・助成したまつり行事数 (件)	B	13	13	13	13	30
カ フィルムコミッションロケ支援数 (件)	B	65	53	61	59	100
キ いわて・盛岡広域センター 対応者数(人)	S	28,392	39,361	37,645	39,344	34,000
ク 啄木学級文の京講座参加者数 (人)	B	355	282	333	309	450
ケ 啄木学級故郷講座参加者数(人)	B	46	23	31	33	50
コ 姫神山やま開き参加者数(人)	B	1,100	1,000	1,200	1,067	1,200

サ コンベンション首都圏誘致営業訪問件数 (件)	▲B	44	34	22	31	50
シ 支援コンベンション件数 (件)・(参加者数(人))	B	111 (106,945)	75 (32,241)	89 (52,092)	86 (46,419)	120 (109,000)
ス MICE助成金交付件数 (交付金額(千円))	▲A	H27 予定 (18件) 24,000	(18件) 8,300	(22件) 14,050	(22件) 15,283	(20件) 25,000
セ コンベンション情報収集活動回数(回)	B	5	4	4	4	6
ソ ユニークプログラム企画提案数 (件)	▲B	4	4	4	4	6
タ 交流センター・青春館自主事業参 加者・入場者数(人)	B	18,503	18,693	21,073	19,455	21,000
チ もりおか歴史文化館入館者数 (人)	A	230,146	239,408	216,999	226,850	240,000
ツ 盛岡市観光文化情報センター入館 者数(人)	C	116,785	106,580	104,838	106,132	120,000
テ もりおか啄木賢治青春館入館者数 (人)	B	42,449	36,052	40,112	32,429	45,000
ト 啄木新婚の家入館者数(人)	B	18,613	16,692	15,744	16,383	20,000

#### 目標達成状況

S：目標達成

A：ほぼ目標達成

B：目標未達成であるが順調に推移

C：改善努力が必要

D：事業見直しが必要

▲：事業運営計画だけに記載し事業評価書に記載のないもの⇒サ コンベンション首都圏誘致営業訪問件数・ス MICE助成金交付件数(交付金額)・ソ ユニークプログラム企画提案数

※：事業運営計画に記載がなく事業評価書だけに記載のもの⇒岩手県観光協会に対する観光土産品推奨件数・観光文化情報プラザ利用者数・接遇研修参加者数・推薦の店加盟会員数

※：イ・オ⇒当初の目標値の設定誤り

※：イ・エ・オ・カ・セ⇒H26実績が事業運営計画策定時から誤っていたもの(修正済)

#### (2)前計画の課題

ア 「重点施策」と「事業運営計画主要事業」の関連付けを明確にするべきである。

イ 計画の体系及び用語の使い方を統一すべきである。

ウ 「事業運営計画主要事業」の指標が、適切な指標設定といえないものが見受けられる。

エ 毎年実施する「事業評価書」と「事業運営計画」の指標を同様にすべきである。

オ 事業評価に基づいた課題発見及び対応策を翌年度以降の事業運営に反映するべきである。

### (3) 前計画を踏まえた次期計画への方向性

- ア 事業運営計画全体の体系及び構成を明瞭化
- イ 使用語句の精査
- ウ 目標達成を表す適切な指標の設定
- エ 重点施策の明確な目標・指標の明示
- オ ニーズ調査の徹底及びターゲットを絞った戦略的誘客の推進
- カ リピーター及び宿泊客の増加並びに客単価を上げるため戦略的誘客の推進
- キ 盛岡に誘導すべき修学旅行・コンベンションへの早期誘致活動の展開
- ク 市民・賛助会員等へきめ細やかな情報提供
  - ・イベント等の周知
  - ・コンベンション・各種イベントの経済効果の明示等々

### 3 事業活動の現状と課題

旅客の国際化を含め、観光へのニーズや形態は日々多様化し、趣味嗜好の多様化も一層顕著となっている。また、全国的な少子高齢化に伴い、旅行者の国内市場は減少傾向にあることから、国内観光需要の縮小化を補うべく、外国人誘客やコンベンションの誘致などインバウンド事業やMICE事業への期待が高まる傾向は今後も継続すると考えられている。

当協会は、観光関連団体等との連携の中で、花巻空港国際航空便等による訪日観光客を、盛岡広域をはじめとするエリアに周遊させることやリピーターの増加を図るため、内外の代理店との連絡及び来訪エージェントとの商談会等への売り込み活動等を進めている。

今後の盛岡広域及び県内経済の観光需要による活性化のためには、新型コロナウイルス感染症拡大により落ち込んだ観光消費拡大をはじめ、国による復興インフラ整備に伴い震災後9年を経て戻りつつある観光客及びインバウンド需要を梃子（てこ）として交流人口を更に増加に導く必要がある。そのためにも東京オリンピックやJR東日本東北復興ディステーションキャンペーン2021などのイベント開催の機会を捉えて国内外からの誘客を図ること、また、ミーティングビジネスの分野においては、MICE助成制度等の有効活用などを積極的に活用し、将来にわたり継続して都市間競争に打ち勝つコンベンションでの誘致力強化が課題となる。

また、当協会が指定管理者として運営している観光文化施設では、まちなか観光の拠点施設として、施設利用促進による地域の賑い創出のため、利用者増を図るPR活動をする一方、時代に即した文化事業を世に問うなどの新たな事業展開を行うなど誘客に結び付ける創造的な運営が求められている。

さらに、外にあっては観光情報の適宜適切な提供はもとより、内にあっては、組織運営基盤の強化を睨んだ効率的な業務の推進が課題であり、具体的には協会ホームページ等の充実や、賛助会員数の拡大、賛助会員と連携したより価値の高いサービスの提供が求められるほか、事務処理にあっては、職員スケジュール管理の徹底、業務マニュアル化の推進及び業務の平準化を進めるほか、国が進める働き方改革に対応することが必要となる。

### 4 計画期間

令和2年度～令和6年度までの5年間

## 5 事業運営方針

事業運営に当っては、5年間の計画期間内において、2つの基本目標のもと、4つの重点施策を定め、盛岡市をはじめ岩手県及び各広域自治体、観光関連団体等との連携をこれまで以上に強化しながら、各重点施策を実現するため公益財団法人として認定されている13の事業を展開しようとするものである。

4つの重点施策については、計画の中間年度である令和4年度において点検・評価をし、必要に応じて見直しを図ることとし、13事業については、毎年度事後評価を行い、翌年度以降に評価に基づいた取組を行い、令和6年度をもって達成度・効果を検証することとする。

また、公益目的事業などを効果的に展開するために、先導的役割と大きな波及効果が期待される柱となる事業を抽出して重点的に進めるとともに財政面を含めた運営基盤の強化を図ることとする。

## (1)基本目標

### ア 観光産業の振興、交流人口の拡大などによる地域の活性化、及び文化の向上に貢献する。

当協会の設立目的である定款第3条に基づき、目標とするものである。

#### 【公益財団法人盛岡観光コンベンション協会定款】

第3条 この法人は、盛岡市及び岩手県の有する文化・社会的・経済的特性を活かし、国内外からのコンベンション及び観光客に対する誘致並びに支援、観光資源の開発宣伝、観光文化施設の整備及び管理を行うことにより、観光の振興及び交流人口の拡大を図り、もって地域の経済活性化及び文化の向上に寄与することを目的とする。

### イ 運営基盤を強化する。

当協会が、持続可能な団体として定款で定める目的を達成するため、人的及び財政的な運営基盤の強化を目標とするものである。

## (2)重点施策

### A まちなか観光の推進

- ・盛岡ふるさとガイドを育成・活用することで、盛岡市民が直に観光客にまち並みや見どころを案内し、触れ合いを伴った「歩いて楽しむまち盛岡」の魅力の伝達を継続して実現する。
- ・「いわて・盛岡広域観光センター」、 「観光文化情報プラザ」及び「もりおか歴史文化館」の観光案内業務の充実を図り、観光客の的確な周遊活動の支援を行う。
- ・盛岡固有の祭りや伝統行事等の継承活動に参画し活用することにより、盛岡の魅力を多くの人に体感していただく。
- ・旅行会社及び学校関係者への営業活動では、盛岡の観光資源はもとより、体験メニューでは既存のものに加えて新たなアイテムの造成に努め、若年層の「盛岡ファン」拡大に努める。
- ・フィルムコミッションを活用し、映像による観光資源を積極的に発信して、盛岡広域の魅力を多くの人に伝える。
- ・各種研修事業の実施及び案内等を通じて、賛助会員など観光業に携わる人材の育成に努める。

### B MICE誘致の推進

- ・各種誘致商談会などに盛岡ブースを出展し、コンベンション開催地としての知名度の向上を図るとともに資料等を活用して誘致活動を展開する。
- ・各種連絡会等に参加し、コンベンション施設や「盛岡MICE助成金制度」などの支援内容を紹介し誘致促進を図る。
- ・首都圏などのコンベンション関連団体・機関を訪問し、各コンベンションに適した会場を提案し、最適な開催環境をPRすることにより誘致促進を図る。

### C 国際観光の推進

- ・国内外のインバウンド旅行会社、観光関係機関及びマスコミに対し、盛岡広域の観光資源について情報提供活動を行うとともに、需要の高まりが見られる体験メニューの造成に努めるなど、国外からの観光客の誘致と受け入れ環境両面の促進を図る。
- ・市内在住の外国人及び海外からの旅行者が、まつり行事や催事イベントに気軽に参加できる仕組み作りを通して、併せてリピーター効果をも念頭に誘客促進を図る。
- ・観光関連事業所向けに、海外からの旅行者対応ツールの提供や研修会等を開催し、「おもてなしの心」の醸成と観光従事者の技量の向上に努める。
- ・JNTO（日本政府観光局）認定（カテゴリー2）外国人観光客案内所の運営を通して外国人観光客への利便性の向上及び提供サービスの質の向上を図る。

### D 賛助会員の拡大・収益事業の積極的展開・事務の効率化

- ・収支の適正な均衡を図り安定した財政基盤構築のために、適正な収入の確保や収益事業における新規収入源となる事業の検討を行うとともに既存の事務事業の見直しを行う。
- ・財政基盤の安定化のため、賛助会員数の拡大を図る。
- ・働き方改革とも連動し、事務事業の見直しを行い、事務の効率化を図る。

#### 【4 重点施策の目標指標】

	H30（基準年）	R 元（実績）	R 6
年間観光客入込数	508.1 万人回	519.1 万人回	530 万人回
年間宿泊観光客数	99 万人泊	107 万人泊	115 万人泊
外国人観光客入込（宿泊観光客数）	5.3 万人	6.6 万人	15 万人
MICE 開催による経済波及効果		667 百万円	860 百万円
賛助会員数		337 会員	400 会員

※「年間観光客入込」・「年間宿泊観光客数」・「年間外国人観光客入込数（宿泊観光客数）」は盛岡市観光推進計画（令和2年～6年度）と足並みをそろえ同じ目標値とした。

#### ※盛岡市目標指標の根拠

盛岡市観光客入込数（延べ）：平成26年から平成30年までの上昇率（+2.23%）に計画推進の効果を加味し、基準年をベースとして約4%の増加を目指す。

盛岡市年間宿泊者数（延べ）：宿泊施設の新規開業などを加味し、基準年をベースとして約16%の増加を目指す。

盛岡市外国人宿泊者数（延べ）：県計画で目標値として定める5年間の増加率122%を上回るよう、基準年をベースとした約283%の増加を目指す。

MICE 開催による経済波及効果：観光庁の MICE 簡易測定モデルにより 30%アップを目指す。  
 賛助会員数：達成できなかった前計画の平成 31 年度の目標値を再度目指す。

【4 重点施策のスケジュール】

	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
A まちなか観光の推進		→	→ 見直し	→	→
B MICE 誘致の推進		→	→ 見直し	→	→
C 国際観光の推進		→	→ 見直し	→	→
D 賛助会員の拡大・収益事業の積極的 展開・事務の効率化		→	→ 見直し	→	→

中間年である令和 4 年度に必要な応じて計画の見直しを行うものとする。

**(3)事業運営計画事業**

公益財団法人として認定された 13 事業を実施する。（詳細後掲）

この 13 事業においては、各目標値をめざした事業展開により、4 つの重点施策の目標値を達成することにより当財団の 2 つの基本目標を成し遂げようとするものである。

#### (4)体系図

##### 【2つの基本目標】

- (1) 観光産業の振興, 交流人口の拡大などによる地域の活性化,及び文化の向上に貢献する。
- (2) 運営基盤を強化する。



##### 【4つの重点施策】令和4年度に必要な応じて見直し

- A まちなか観光の推進
- B MICE 誘致の推進
- C 国際観光の推進
- D 賛助会員の拡大・収益事業の積極的展開・事務の効率化



##### 【13の事業】毎年度事後評価を実施し, 令和6年度に達成度・効果を検証

- (1) 広報宣伝事業(A) (B) (C)
- (2) 観光案内事業(A)
- (3) 観光客誘致促進事業(A) (B) (C)
- (4) まつり行事振興事業(A)
- (5) フィルムコミッション事業(A)
- (6) 玉山地域観光振興事業(A)
- (7) 観光客受入体制整備事業(A) (B) (C)
- (8) MICE 誘致支援事業(B)
- (9) 企画開発情報収集事業(B)
- (10) 盛岡 MICE 助成金交付事業(B)
- (11) 自主企画事業の展開などによる観光・文化の振興事業(A)
- (12) 施設の管理運営事業(A) (D)
- (13) 収益に関する事業(A) (B) (C) (D)

## 6 次期指定管理について

現在、令和元年4月1日から令和6年3月31日の5年の期間で、盛岡市から「盛岡市観光文化交流センター(プラザおでって内)」、「もりおか啄木・賢治青春館」及び「もりおか歴史文化館」の管理者指定を受けている。

これら観光文化施設は、当協会において観光案内、観光客誘致のほか観光・文化・生活に関する情報発信拠点として活用し、地域の賑わいの創出や文化の向上に貢献しており、今後とも継続性を持って三施設を活用とした特色ある観光文化の振興を図る必要があることから、令和6年4月1日以降の管理指定を目指すものとする。

## 7 事業評価

各年度においては、事業年度終了後、計画の達成度合いを「事業評価書」により評価し、課題等については次年度以降の事業運営に反映する。

事業運営計画については、計画の最終年度において、総括評価を行い、令和7年度以降の事業運営の参考とする。

## 事業運営計画事業一覧

### 【観光振興事業（公益目的事業）】

事業名	目 的	事業内容及び目標値		
(1) 広報宣伝 事業  重点施策 【A・B・C】	ホームページや全国紙，地方紙，ネット広告，空路・鉄道の各ターミナル地域の露出とし，県外客誘客を図る。  ホームページは，閲覧者数が頭打ちのため，英語での運用及び利用者の多いスマートフォン向け表示機能も追加し訪問者数増を図る。	観光イベント等情報の新聞やネット広告掲載及びホームページを活用し情報発信する事業。 指標：①新聞掲載回数  (当協会内事務局含) ②協会ホームページ訪問回数  (hellomorioka)		
		指標 \ 年度	令和元年度(実績)	令和6年度
		指標①	4回	10回
		指標②	176,699回	212,000回
(2) 観光案内 事業  重点施策 【A】	観光客に盛岡市民が盛岡のまち並みや見どころを丁寧に案内し，盛岡の魅力を楽しんでいただくことにより，触れ合いを伴う印象的な観光振興を実現する。	市民観光ボランティアガイドが盛岡の魅力を組み込んだ「啄木・賢治青春の道」「先人と町家の道」ほかのコースにより，徒歩観光を楽しんでもらう事業。 指標： ①ふるさとガイドによる案内客数 ②岩山展望デッキ等利用者数		
		指標 \ 年度	令和元年度(実績)	令和6年度
		指標①	2,107人	2,500人
		指標②	43,325人	45,000人
(3) 観光客誘致 促進事業  重点施策 【A・B・C】	盛岡及び盛岡広域圏へ国内外の観光客や修学旅行生などの誘致を図る。	誘致キャンペーンへの出展，ルートセールスによるPR・誘客活動及び各種イベント実施団体に対する支援を行い集客を図る事業。 指標①国内外観光客及び教育旅行誘致活動回数		
		指標 \ 年度	令和元年度(実績)	令和6年度
		指標①	3回	5回
(4) まつり行事 振興事業  重点施策 【A】	盛岡さんさ踊り振興協議会や山車運行委員会等の事務局として，伝統文化イベントやまつり行事に参画するとともに，その他の同様な行事支援育成及び県内外へのPRにより観光振興を図る。	各種まつり，伝統行事への支援，助成及び告知宣伝を行う事業。 指標： ①支援・助成したまつり行事数 ②さんさ団体派遣回数 ③盛岡山車参加者数		
		指標 \ 年度	令和元年度(実績)	令和6年度
		指標①	13	13
		指標②	26	30
指標③	652	700		

<p>(5) フィルム コミッション事業</p> <p>重点施策 【A】</p>	<p>盛岡広域の観光資源を地元ブランドとして、テレビ、映画等の映像を通じて全国にPRし、誘客を図り観光振興につなげる。</p>	<p>映像制作関係者にロケ適地を紹介するほか、ロケ隊の現地案内、撮影許可支援等を行うことによりテレビ・映画等のロケを誘致する事業。</p> <p>指標： ①ロケ全支援数 ②ロケ支援数（①のうち映画・テレビ）</p> <table border="1" data-bbox="852 465 1396 607"> <thead> <tr> <th>指標 \ 年度</th> <th>令和元年度(実績)</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標①</td> <td>50件</td> <td>70件</td> </tr> <tr> <td>指標②</td> <td>30件</td> <td>40件</td> </tr> </tbody> </table>	指標 \ 年度	令和元年度(実績)	令和6年度	指標①	50件	70件	指標②	30件	40件			
指標 \ 年度	令和元年度(実績)	令和6年度												
指標①	50件	70件												
指標②	30件	40件												
<p>(6) 玉山地域 観光振興事業</p> <p>重点施策 【A】</p>	<p>玉山地域の観光資源について、広く周知し興味をもっていただくことにより誘客を図り観光振興につなげる。</p>	<p>1 啄木学級文の京(ふみのみやこ)講座 石川啄木終焉の地である東京都文京区において、啄木に造詣の深いゲストを招いての講演会を行うとともに盛岡市の特産品の紹介、販売、観光情報を提供するなど首都圏の住民に盛岡のPRを行う。</p> <p>2 啄木学級故郷(ふるさと)講座 石川啄木記念館敷地内にある旧渋民尋常小学校において、盛岡広域の住民を対象として啄木に造詣の深いゲストを招いての講演会を行う。</p> <p>3 姫神山やま開き 姫神山登山口において登山の安全祈願後、一斉登山を行い、優れた景観と自然環境をPRしながら観光振興に結びつける。</p> <p>指標： ①啄木学級文の京講座参加者数 ②啄木学級故郷講座参加者数 ③姫神山やま開き参加者数</p> <table border="1" data-bbox="852 1442 1396 1621"> <thead> <tr> <th>指標 \ 年度</th> <th>令和元年度(実績)</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標①</td> <td>333人</td> <td>350人</td> </tr> <tr> <td>指標②</td> <td>31人</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>指標③</td> <td>1200人</td> <td>1,200人</td> </tr> </tbody> </table>	指標 \ 年度	令和元年度(実績)	令和6年度	指標①	333人	350人	指標②	31人	35人	指標③	1200人	1,200人
指標 \ 年度	令和元年度(実績)	令和6年度												
指標①	333人	350人												
指標②	31人	35人												
指標③	1200人	1,200人												
<p>(7) 観光客受入 体制整備事業</p> <p>重点施策 【A・B・C】</p>	<p>JNTO 認定カテゴリー2の外国人案内所として、盛岡駅を利用する国内外の観光客や学会等で来県する人々に、県内と周辺広域圏の観光地・各種イベント情報を提供し、おもてなしの充実を図る。</p>	<p>盛岡駅構内南口の「いわて・盛岡広域観光センター」において、観光案内や観光パンフレットの提供及び宿泊施設の紹介等を行い、来盛者の利便に供する事業</p> <p>指標： ①いわて・盛岡広域センター対応者数</p> <table border="1" data-bbox="852 1890 1396 1968"> <thead> <tr> <th>指標 \ 年度</th> <th>令和元年度(実績)</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標①</td> <td>37,645人</td> <td>45,000人</td> </tr> </tbody> </table>	指標 \ 年度	令和元年度(実績)	令和6年度	指標①	37,645人	45,000人						
指標 \ 年度	令和元年度(実績)	令和6年度												
指標①	37,645人	45,000人												

【MICE 振興事業（公益目的事業）】

事業名	目的	事業内容及び目標値		
(8) MICE 誘致 支援事業  重点施策 【B】	国内外の大会・学会を盛岡及び岩手県内に誘致し、成功に導くことにより地域経済の活性化に貢献する。	1 各種誘致商談会へ盛岡ブースを出展するなどしコンベンション主催者及び旅行業者等へ誘致活動を行う事業 2 観光パンフレットの提供，サポーター派遣等の大会支援事業 これらの事業を展開することにより誘致と大会成功につなげる。 指標： ①MICE 誘致商談件数 ②コンベンションの支援件数 ③コンベンションの参加者数		
		指標 \ 年度	令和元年度(実績)	令和6年度
		指標①	73 件	90 件
		指標②	89 件	120 件
		指標③	52,092 人	75,000 人
(9) 企画開発 情報収集事業  重点施策 【B】	コンベンション開催調査を実施し，データベース化する。 また，各種会議，研修会等において誘致・支援に必要な情報収集を行い，新たな誘致活動に活用するほか，郷土の特色を活かした企画提案に結びつける。	地元大学や各種団体の大会・学会主催者に関するアンケートを行うとともに，個別訪問による情報収集を強化し，データベース化して誘致，支援に活用する。 また，全国，東北規模で行われる各種連絡会議等に参加して情報収集し，地元のおもてなしメニュー(ユニークプログラム)を企画開発する。指標：①情報収集活動回数		
		指標 \ 年度	令和元年度(実績)	令和6年度
		指標①	4 回	6 回
(10) 盛岡 MICE 助成金交付事業  重点施策 【B】	助成金を交付することにより，より多くの MICE 開催を誘導を図る。	盛岡 MICE 助成金を交付し，地域活性化を図る。 指標： ①MICE 助成金交付件数 ②MICE 助成金対象参加者人数 ③MICE 助成金交付金額		
		指標 \ 年度	令和元年度(実績)	令和6年度
		指標①	22 件	32 件
		指標②	14,799 人	21,000 人
指標③	14,050 千円	26,000 千円		

【自主企画事業の展開などによる観光・文化の振興事業（公益目的事業）】

事業名	目的	事業内容及び目標値			
<p>(11) 自主企画 事業の展開などによる 観光・文化の 振興事業</p> <p>重点施策 【A】</p>	<p>盛岡市から管理指定を受けている観光文化施設において自主企画事業を展開し、盛岡広域の観光・文化に興味や関心をもつていただくことにより観光客の誘致及び交流人口の拡大を図る。</p>	<p>1 盛岡市観光文化交流センター</p> <p>(1) 伝統芸能文化振興事業 地域に伝わる郷土芸能を固有の文化として継承させていくために、演舞機会と鑑賞機会を提供し、親しみを持って楽しんでいただく事業で、若年層等新規観客層の開拓を推進する。</p> <p>(2) おでってシアター おでってホールの立地とステージ環境を効果的に活用し、地元アーティストの文化芸術活動を支援する文芸や音楽等のイベントを展開するとともに、ジャンルを超えた常連層の拡大を推進する。</p> <p>2 もりおか啄木・賢治青春館</p> <p>(1) 各種企画展 石川啄木や宮沢賢治をはじめ、地域に根差した人物、素材を活用し、絵画展や文学展等を企画開催し、通年で集客を図れるよう質の向上とリピーター確保を推進する。</p> <p>(2) 各種コンサート 国重要文化財としてのブランドと良好な音響環境を持った建物の特性を活かし、弦楽器を主体としたコンサートを開催することにより、親近感のある場所として集客向上を推進する。</p> <p>3 もりおか歴史文化館</p> <p>当協会の観光アテンダントが「まちなか情報センター」及び「ミュージアムショップ」において、来館者に盛岡広域の観光、自然、各種観光施設を紹介するなど同館の受付機能を活用し広く観光案内を実施する。</p> <p>指標：</p> <p>① 交流センター自主事業の入場者数 ② 青春館自主事業の参加者・入場者数 ③ もりおか歴史文化館入館者数</p>			
		指標 \ 年度	令和元年度(実績)	令和6年度	
		指標①	901人	900人	
		指標②	20,172人	20,000人	
		指標③	216,999人	220,000人	

【施設の管理運営事業（収益事業）】

事業名	目的	事業内容及び目標値			
<p>(12) 観光・文化施設の管理運営事業</p> <p>重点施策【A・D】</p>	<p>盛岡市から管理指定及び管理委託を受けている観光・文化施設において、観光案内など利用サービスの充実を図るとともに施設の適切な維持管理を行い利用者が快適に過ごせるようにする。</p>	<p>1 盛岡市観光文化交流センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光文化情報プラザにおいて、国内外の観光客や修学旅行生等に対し、盛岡広域の観光情報の提供やまち歩き観光の魅力を紹介するほか、観光相談・助言を行うなど総合的な観光案内を実施する。</li> <li>・ホール、ギャラリー、会議室等について、貸室業務を行うとともに利用者増につながるようPRを行う。</li> <li>・施設について、効率的で、かつ安全、衛生面に配慮した維持・管理を行う。</li> </ul> <p>2 もりおか啄木・賢治青春館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物販コーナーにおいて、石川啄木・宮沢賢治に関する書籍や絵葉書、土産用観光グッズを販売する。</li> <li>・観光客等の懇談、休憩場所として喫茶コーナーを管理運営する。</li> <li>・施設について、効率的で、かつ安全、衛生面に配慮した維持・管理を行う。</li> </ul> <p>3 啄木新婚の家</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内唯一の武家屋敷という貴重な文化施設として、また市内観光ルートの名所の一つとして、盛岡市から管理受託（単年度）する啄木新婚の家について、適切な管理運営を行う。</li> </ul> <p>指標：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①盛岡市観光文化交流センター入館者数</li> <li>②もりおか啄木・賢治青春館入館者数</li> <li>③啄木新婚の家入館者数</li> </ul>			
		指標	年度	令和元年度(実績)	令和6年度
		指標①		104,838人	110,000人
		指標②		40,112人	42,000人
		指標③		15,744	17,000人

【収益に関する事業（収益事業）】

事業名	目的	事業内容及び目標値			
(13) 収益に関する事業  重点施策 <b>【A・B・C・D】</b>	観光の振興及び交流人口の拡大を図り、もって地域の経済活性化と文化の向上に寄与するという目的を達成するため、収益事業による利益の一部を公益事業で使用するものである。	1 観光文化情報プラザにおける観光グッズ販売事業、プレイガイド事業、レンタサイクル事業 2 推薦の店標識貸与事業・接遇研修等 指標： ①観光文化情報プラザ利用者数 ②接遇研修参加者数（延べ） ③推薦の店加盟会員数			
		指標 \ 年度	令和元年度(実績)	令和6年度	
		指標①	36,327 人	37,000 人	
		指標②	155 人	160 人	
		指標③	115 会員	150 会員	